

全国大会に向け気合十分の「元気レディー」メンバー
(土佐市波介の波介小学校体育館)



者や総合...
1、2年生ら約1400人
が集った。最後の生徒会
長、森田敦也さんは新型コ
ロナ禍で「一生に一度の密

を取り戻...
た。修学旅行や体育祭、ミ
ニ文化祭はもちろん、何よ
り「みんなのおかげで本当

タイムカ...
内の花壇に埋めた。2004
2年に掘り起こす。

2004

3丁目

で式典を行った。

綱引き女子 全国挑戦

土佐市の「元気レディー」

【土佐】競技綱引きの日本一を決める全日本綱引選手権大会(5日・東京都)に、土佐市の女子チーム「元気レディー」が出場する。県内チームの参加は二十数年ぶり。苦戦が予想されるが、メンバーは「一つでも勝ちたい」「失うものは何もない」と気合を入れ、本番に向かう。レディーは、同市波介のトレーニングジム「元気クラブ」の会員やその友人の20〜50代で構成。昨年12月、県選手権を制し、全国大会への出場権を得た。大会には日本綱引連盟に加盟し、各都道府県予選を勝ち抜くなどしたチームが出場。女子の部は16チームが4組に分かれて予選、決勝トーナメントで争う。1チームは8人で構成するが、レディーの県内在住者は6人で、当日はメンバーの娘ら以外の2人が助っ人として加わる予定。

「一つでも勝ちたい！」

6人は年明けから週1回、同市の波介小学校体育館に集まり、元気クラブの男性スタッフや以前の全国大会出場経験者らと約2時間汗を流している。2月27日、本番前最後の練習では「基本姿勢をしっかりと」「(引く)綱の高さを一定に保とう」と声をかけ合いながら調整した。

大会規則では1チームの合計体重が500kg以内と規定され、常連チームは上限いっぱい調節してくるといふが、レディーは420kgほど。しかも初戦の相手は大会10連覇中の大阪チームで、苦しい戦いとなりそうだ。

それでも「好きな物を好きな時に食べて増量中」とメンバーはやる気満々。キャプテンの門明麻美さん(55)は、ユニホーム購入などで支援してくれた地元企業を念頭に「いろんな方に支えられているという感謝を胸に全力を出し切る。全国に爪痕を残したい」と意気込んでいる。

(谷川剛章)

は、本... 駆ちれで



